

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第6部門第1区分
【発行日】平成19年2月1日(2007.2.1)

【公開番号】特開2001-165645(P2001-165645A)
【公開日】平成13年6月22日(2001.6.22)
【出願番号】特願平11-353331
【国際特許分類】

G 0 1 B 21/00 (2006.01)

【F I】

G 0 1 B 21/00 C

【手続補正書】
【提出日】平成18年12月13日(2006.12.13)

【手続補正1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】

【請求項1】 信号を測定物に送信するトランスミッタと、測定物で反射された信号を受信するレシーバと、レシーバの受信信号に基づいて測定物までの距離を算出する演算手段と、その演算結果を表示する表示部を備えた携帯用測定装置において、

前記トランスミッタとレシーバとで信号を送受信する第1送受信部と、前記トランスミッタとレシーバとで信号を送受信する第2送受信部とを備えていることを特徴とする携帯用測定装置。

【請求項2】 第1送受信部と第2送受信部とは、信号送受信方向が同一の直線上に沿うように配置されているとともに、これら2つの送受信部は、信号を互いに離反する向きに送信するように構成されていることを特徴とする請求項1記載の携帯用測定装置。

【請求項3】 第1送受信部を収容する第1送受信筐体部と、第2送受信部を収容する第2送受信筐体部とを備え、この第1送受信筐体部と第2送受信筐体部とが軸回りに回転自在に配設されているとともに、それら第1送受信筐体部と第2送受信筐体部との間の角度を設定するための設定手段を備えていることを特徴とする請求項1記載の携帯用測定装置。

【請求項4】 第1送受信筐体部と第2送受信筐体部との間の角度を任意に設定し、第1送受信部及び第2送受信部からの受信信号に基づいて面積を算出するように構成されていることを特徴とする請求項3記載の携帯用測定装置。

【請求項5】 測定結果を表示部の画面上に図形にて表示することを特徴とする請求項1、2、3または4記載の携帯用測定装置。

【手続補正2】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0011
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0011】

また、この場合、第1送受信筐体部と第2送受信筐体部との間の角度を任意の角度、例えば90度に設定して測定を行えば、互いに直交する横方向と縦方向の各距離を1度の測定で計測することが可能になり、それら2つの測定値から面積を算出することができる。